



2015 紀の国 わがやま大会

第15回全国障害者スポーツ大会 躍動と歓喜、そして絆

審判(副)委員長
氏名： 松本 久彦
確認： 未 ・ 済

バレーボール競技 戦評用紙

種別	聴覚障害者の部(男子)
----	-------------

会場	岩出市立市民総合体育館
----	-------------

平成 27 年 10 月 25 日 日 曜日 第 2 日目

A コート 第 3 試合

1回戦 交流試合 準決勝 3位決定戦 決勝

◎試合結果

勝利チーム	{ 25 — 11 25 — 7 — — }	0 和歌山県
栃木県 2		
都道府県 指定都市名		
		都道府県 指定都市名

【審判員】

主 審： 山本 和良 (和歌山 県) 副 審： 岡本 浩美 (和歌山 県)

記録員： 林 紗也佳 (和歌山 県) A・S： 福本 凡子 木下 昌計 (和歌山 県)

【戦 評】

記載者： 山田 浩史 (戦評委員)

和歌山大会男子1回戦第3試合は、開催県和歌山県と栃木県との戦いとなった。平均身長で5cm以上上回る栃木県に地元の応援を受け、地元和歌山県がどのように戦うが見どころである。

1セット目序盤から栃木県セッター15番木沢の速攻を織り交ぜたトス回しと8番エース若原の強烈なスパイクにより試合の主導権を握った。一方、和歌山県は、栃木県の猛攻を必死でつなぎ、1番日方、12番馬場が、スパイクを決めるが流れを呼び込むことができず、25対11で1セット目を落とした。

和歌山県12番馬場のスパイクで始まった2セット目であったが、栃木県8番若原を中心とする勢いを止めることができず終始、栃木県主導のセットとなった。和歌山県は、9番田村、10番前田を投入し流れを変えようとするが、ミスが目立ち始めた。結果25対7で栃木県が2セット目を取り、セットカウント2対0で2回戦にコマを進めることとなった。

150

300

450